

令和4年度 岩手県立盛岡第四学校教職員働き方改革アクションプラン

～Sante (健康) Volonte (意欲) Tranquillite (安らぎ)～
サント ボロンテ トランキリテ

盛岡第四高等学校では、「岩手県教職員働き方改革プラン(2021～2023)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現状

- ・ 年平均月80時間以上の時間外在校等時間を行う教職員が全体の13%に及ぶ。
- ・ 年平均月45時間以上の時間外在校等時間を行う教職員が全体の57%に及ぶ。
- ・ 分掌主任や各種行事を担当する教職員など、一部職員に業務が集中している。
- ・ 部活動での大会引率等の振替を取得できない状況にある。

2 目指す姿

- ・ 教職員一人一人が、チーム盛岡四高と感じながら業務に取り組んでいる。
- ・ 教職員が、家庭で過ごす時間や余暇を十分に確保できている。
- ・ 管理職が日頃から教職員に声掛けを行い、風通しのよい雰囲気を作っている。
- ・ 管理職や主任が、会議や集会の簡素化を図ろうと取り組んでいる。

3 取組内容

○ 教職員の健康管理

- ・ 働き方改革プランの「業務への充実感や安心感の向上」の取組を確実に実施します。
- ・ 産業医による保健指導を推進し健康に対する意識向上を図ります。
- ・ 長期休業中に振替を取得するよう声掛けをします。
- ・ 家庭で過ごす時間、あるいは余暇を有意義に過ごす時間を確保するために、残業をしない曜日を設定し声をします。

○ 学校における業務改善の推進

- ・ 管理職が、「業務の分散化」について積極的に声掛けをします。
- ・ 分掌業務の分担と効率化を実施することにより、業務の効率化を進めます。
- ・ 管理職や主任が、会議や集会の簡素化と効率化に積極的に取り組みます。
- ・ SC、部活動指導員等と協力し、教職員の負担を軽減します。

4 目標

- ・ 時間外在校等時間が年平均で一ヶ月100時間を超える者→0人
- ・ 時間外在校等時間(週休日の部活動指導従事時間を除く。)が月45時間超の者→昨年度比5割減(13名減)
- ・ 年に5日以上1日単位の年次取得を行う教職員→100%
- ・ 定例職員会議の実施時間→月1時間以内

令和4年5月31日

岩手県立盛岡第四高等学校
校長 上 柿 剛



(参考)「岩手県教職員働き方改革プラン(2021～2023)」(抜粋)

【策定趣旨】

○ 働き方改革の実現により、岩手の未来を担う大切な子どもたちに、質の高い教育の持続的提供につなげる。

【プランの期間】 令和3年度～令和5年度までの3カ年度

【プランの目標】
目標1 県立学校の教員の時間外在校等時間の縮減
(1) 時間外在校等時間が月100時間以上の者を令和3年度からゼロにする。

(2) 時間外在校等時間(週休日の部活動指導従事時間を除く。)が月45時間超、年360時間超の者を下記のとおり段階的に縮減する。

取組期間			
時間外 在校等時間	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度
月45時間超	令和2年度実績の 5割減	令和2年度実績の 8割減	ゼロ
年360時間超			

目標2 業務への充実感や、健康面での安心感の向上
令和5年度において、アンケート調査に基づく肯定的実感が令和3年度の実施結果から向上することを目指す。